現場実証概要(令和6年現場実証結果)

技術名 360度写真を自動的に地図と連動させ多視点で現況を効率的に確認できる技術 本技術は、360度写真及びドローン等で撮影された複数枚の写真をPCのフォルダを指定す るだけで地図上に撮影位置が自動配置され、360度ビューワーにて多視点での確認を可能 とします。従来、地図と写真の紐つけは手動で行なっており、撮影後の処理に多くの時間 が発生していました。特に写真枚数が多い場合は1日-2日かかる場合もありますが。本技 技術概要 術は、この後処理の工数を数秒で実現する機能を備えました。 また、ヒビなどの損傷部は360度カメラ(魚眼レンズ)では画質が悪く不向きである問題 がありましたが、静止画も取込みを可能としたことで画質の問題を解決します。 ・荒川河川敷を360度カメラで歩きながら約50分で40枚撮影。撮影データをPCフォルダに格納、アプリ で数秒で40枚を地図上に自動配置、ストリートビューも自動作成(従来作業約2時間→数秒へ) ・岩淵水門全体をドローンにて360度パノラマ及び通常写真を複数枚撮影(撮影時間60分程度)、写真 データをPCフォルダに格納しアプリで読込、数秒で地図と写真が連動して表示が可能となった。 実証結果 ・写真品質検証(樋門全体撮影)、ドローンによるパノラマ写真は360度カメラより解像度が高く、門柱の 上部5m程度で1枚撮影するだけでヒビ等の劣化が確認ができることから、4箇所の門柱上部の撮影は 4枚のみで詳細確認が可能。側面の撮影箇所を併せても撮影時間の大幅な短縮につながる可能性を確認 今後は、360度ビューワーで複数人が簡単に現場状況を共有、記録/保存が可能な機能を実装予定。 河川敷Map+写真自動 岩淵水門ドローン 10倍ZOOM 現場実証状況 株式会社リモデルパートナーズ 問合せ先 開発団体名 担当者 有田 茂 TEL 042-812-3140